



「古屋まさお」とともに歩む

# 友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007  
山梨県山梨市七日市場816-7  
TEL 0553-23-6688  
FAX 0553-22-3700  
■編集責任者：古屋 雅夫  
第3次安倍内閣、地方が元気になる政策に期待する。

9月  
定例  
議会  
報告  
例

## 「決算特別委員会」委員長の任に就く

- ・市民会館耐震・図書館整備事業総額12億420万円を認定
- ・一般質問で「環境条例制定」に向けた考え等を質す



山梨市議会議員  
古屋まさお

9月定例議会は、さる9月2日から10月2日まで開かれた。

今議会では条例関係5件、予算関係7件（補正額4億4,098万円）、決算関係12件、その他1件が9月2日に提案され最終日（10/2）に、山梨市民会館耐震改修および図書館電気設備工事、機械設備工事、主体工事の3事業請負契約（12億420万円）等提案され採決の結果、原案通り可決・認定されました。

また、平成26年度決算審査は、決算特別委員会を設置し9月25日から3日間開催され「古屋まさお」市議が委員長に選任され、予算の目的に沿って、公正・公平に、しかも適切に執行されているか、どのような効果をもたらしているのか等慎重に審査を行いました。各委員から延べ150件を越える活発な質問等をまとめ、本会議に報告、決算（各会計12案件）が認定されました。

※ 記載内容は古屋まさお市議のメモであることから適切な表現ではない部分等についてはご容赦願います。

### =平成26年度決算・概要=

◇一般会計歳入総額181億9,496万円余で前年度比3.9%減、一般会計歳出総額168億5308万円余で前年度比5.9%減、H27年度への繰越金は7億4,909万円余となり、特別会計の歳入総額は109億5,600万円余、歳出総額は108億300万円余となっています。

◇歳入（一般）では、市民税は39億3,000万円余。0.2%微増、一方で豪雪などによる特別公布税増額はあったものの普通交付税は全体で2.7%の減となっている。また、依存財源である「地域の元気臨時交付金」の終了と合わせ、社会資本整備総合交付金交付金の大幅な減などにより20.5%の減となった。

◇歳出（一般）では、義務的経費・人件費は3.6%の増、投資的経費は小原スポーツ広場事業及び土地開発公社所有の土地購入事業の終息と社会資本整備総合交付金事業の減額等により全体で36.3%減となりました。

○財政の健全性（財政指数）は、実質収支比率は7.09%、公債費比率は10.7%であるが、公債費負担比率は18.3%と高く注視していかなければならない。また、最も重視していかなければならない、経常収支率も前年比3.6ポイント悪化し86.5%になっている。※基金の取崩しはない。

◇その他

○一般会計基金総額は48億947万円余・うち財政調整基

金は27億300万円前年度より（90万円増）となっています。

○市債残高は209億424万円余となっており依然として多い状況にある。

○不納欠損額は1,703万511円となっています。

※市債残高および不納欠損額の着実な減少が求められる。



↑ 決算特別委員会で挨拶する古屋まさお市議

## 地域で平和への思い！



↑ 牧丘町牧平地区・秋まつり・火祭り

さる9月17日に安保法が成立しました。市議会の一般質問で公明党議員が突然「戦争法案ではない！」と強調した！

多くの国民・元最高裁判事や元内閣法制局長官、元自民党議員幹事長、憲法学者、文化人、日弁連などが批判をし「憲法違反だ！」と断罪しようが、安倍総理は数の力で「集団的自衛権」の行使を押し通してしまいました。米国の侵略戦争に自衛隊が参戦する可能性が高まったと言えます。国民の不安は、専守防衛とは無関係に戦争に巻き込まれること。しかし他方で、我が国を取り巻く方が一に備えた防衛体制は万全かということ。尖閣も北朝鮮も、従来通りの個別自衛権の範囲内で、警察・海上保安庁と自衛隊との間の「隙間」無き連携強化こそ、我が国に今、最も急がれる安全保障政策だと考えています。「近くは現実的に、遠くは抑制的に、そして人道支援は積極的に」この原則に従うことが重要だと考えています。

私が育ったこの地域・牧丘町・牧平地区では、毎年10月10日に秋祭り・火祭りが行われる、メインは夜、山の傾斜を利用して、その年の「出来事」、「思い」を竹筒に火を灯し表現する火祭りが継承されています。今年「平和70」。(写真) 戦後70年、区民は平和に対する思いを強調しました。

## 2、全国学力・状況調査の公表方法について

・本調査の目的は指導改善を図ることにあり、公表の在り方について市はどのように考えているのか。

(教育長) ①個々の学校名を明らかにした調査結果の公表は行わない方針である、それは本来の「知・徳・体」のバランスの取れた教育が行いにくくなるから、②調査結果の概要は保護者に公表し家庭と学校が連携して学力向上の取り組みができるようにすることと、説明責任を果たすためである。

◆他に①国土強靱化地域計画と人材育成について、②マイナンバー制度導入に伴うセキュリティ対策について、③市管理の美術品の適正な管理、活用について質した。

## =総合市民会館耐震及び図書館整備工事・入札の方法について提言=

総合市民会館耐震は及び図書館整備工事は来年の秋10月15日(市民会館)、11月3日(図書館)に完成式典が行われます。その工事費(12億420万円)について最終日に請負契約の締結、議会の議決を求める件が提案され、総務常任委員会で審査を行い委員会として『いずれの工事費(主体工事、電気設備工事、機械設備工事)・3事業の落札率は99%近い結果であり、入札参加業者数が少ないことにより競争が無い中で成立している。市は問題意識を持つ中で改善方法を検討し、市民に還元できるような競争入札であるべきだ』等の意見をまとめ本会議で報告・提言しました。

### 〈補正予算額〉

・平成27年度予算補正額4億4098万円を追加し、総額192億7,743万4千円とする。主な内容：牧丘・三富小学校の統合に関わる経費1億1840万円余等

### 〈市内の動き〉

- 雁坂トンネル無料化(7/1~11/30)により、2万台以上増加、市内の活性化につながっている。
- 巨峰の丘マラソン(9/20)約2,400人のランナーをお迎えして盛況に開催された。
- 「ふるさと納税」特典(特産品の贈呈)の反響等により6940万円余(8月末)となる
- ※3月議会で政策提起した特典品の効果が表れている。
- 「地方創生 山梨市30%とくとく商品券」  
1,9500冊販売2億5350万円のうち、1億7100万円余が消費(8月末)された。経済効果に期待したい。

## 一般質問・主要事項

### 1、景観条例制定に向けて

・来る12月定例議会において市は景観条例制定を目指している。特に太陽光発電施設の推進と景観と保全をしっかりと条例で示すことが重要である。条例制定に向けた基本的な考え方は。

(市長) 市の山並みや一面の果樹園の中に発電施設が無秩序点在することは良好な景観を阻害すると考える。そこで発電施設の色合いに配慮して頂くことを景観計画に追加した。また地区の特性を踏まえ、行為制限を定める「景観重点区域」の指定も検討する。

## ★★★★★「友雅会ニュース」あとがき★★★★★



▼景気は回復基調にあるとは言え、地方と大都市バランスが取れていない現状「実感は得られない！」地方が元気になる予算配分等期待したい▼山梨市は将来人口(2040年)として3万3千人を目指すことを提示(10/1)、働く場所、子育て環境など課題の克服が一層、重要となってきます▼山梨市駅南北自由通路、南口整備事業・総額約60億円、平成30年度の完成を目指している。財源は国庫補助金38.4億円、合併債22億円、一般財源3.2億円が示された。事業効果への期待と併せ引き続き「人が集まり元気な山梨市づくり」を目指していきます。

<http://www.e-masao.net/>